

心のメッセージ

知識と知恵

みなさんと同じ歳としくらいの頃、私は一つでも多くの知識を得ることが大切だと考えていた。それは授業を一生懸命聞くことであり、少しでも良い点数を取るために勉強することでもあった。今になれば、他にもたくさんの手段しゅだんがあることを知るのだが、中学生の私にはそれが精一杯だった。

中学校も高校も、知識の量が結果となり、自分を測る尺度はか しゃくどの一つとして存在した。

ところが、大人になってみると、授業もなければ、テストもない。子どもの頃は、そんな世界に生きる大人がうらやましかった。

しかし、大人には知識かの代わりに求められるものがあつた。

この世界には答えがない。

参加するじしゆくのか自粛するじしゆくのか。健康を守るのか経済を守るのか。立場によって正しさはかわる。みんなの中にも、今その難しさを肌で感じている人が多いかもしれない。

また ICT は驚くほどのスピードで進化し、スマホを覗けば、なんでも簡単に調べられる時代になった。気を抜くと溢れる情報あふの海におぼれてしまう。情報は知識。

だとすれば、我々が求められるのは、その知識をどう使うか。そこで必要になるのが、知恵である。

どうするべきかはんだんを判断して、決断けつだんする。そのためには知恵が必要だ。

知識を持っている人はたくさんいるけれど、知恵を持っている人はそう多くない。

模範解答もはんかいどうを言えることも大切だけれど、それ以上に大切なのは、自分の頭で考えられること。

大人になった今、それを身にしみて感じている。

